

令和 7 年度

事業概要

社会福祉法人 昭徳会

小 原 学 園

目 次

1. 施設の概要	1
(1) 設置目的	1
(2) 名称及び所在地	1
(3) 敷地及び建物	1
(4) 設置及び運営	1
(5) 入所定員	1
(6) 沿 革	1
(7) 建物平面図	2
(8) 職種別職員数	2
2. 援助の概要	3
(1) 概 況	3
(2) 援助目標	3
① 4つの援助目標	3
② 発達段階別援助	4
(3) 重点目標	4
(4) 生活目標	4
(5) 日 課 表	5
(6) 短期入所の取り組み	6
① 短期入所登録状況	6
② 短期入所実施状況	7
③ 短期入所の理由	8
(7) 令和7年度年間行事予定	10
3. 利用者の状況	11
(1) 措置機関別 措置機関別入所児数	11
(2) 年齢別	12
(3) 在園期間別年齢構成	13
(4) 障害程度	14
(5) 合 併 症	15
(6) 自閉症（自閉症傾向含む）	16
(7) 言 語	17
(8) 障害の状況	18
(9) 介助の程度別	19
(10) 就学	20

4. 健康管理	21
(1) 医療機関等受診、治療状況	21
① 各科別受診回数状況比較	21
② 診察科別受診状況	21
③ 学園内治療状況	22
(2) 肥満度状況	23
5. 栄養摂取の状況	24
6. 保護者の状況	25
(1) 保護者の状況	25
(2) 保護者の来園状況	25
(3) 長期家庭療育実施状況	26
(4) 令和6年度家庭状況別長期家庭療育実施状況	26
7. 入退所状況	27
(1) 入退所状況	27
(2) 入所者の年齢	28
(3) 退所者の年齢	28
(4) 退所理由	28
8. ボランティアの状況	29
 資 料	
(1) 措置機関別	30
(2) 年齢別・性別	31
(3) 在園年数状況	32
(4) 障害程度	33
(5) 自閉症	34
(6) 介助の程度別	35
(7) 就 学	36

1. 施設の概要

(1) 設置目的

児童福祉法第 42 条の規程に基づく福祉型障害児入所施設で、知的ハンディのある児童を受け入れ、これを援助すると共に、入所児童が独立自活に必要な知識技能を習得することを目的とする。

(2) 名称及び所在地

名 称 小原学園

所在地 豊田市沢田町座内 22 番地

(3) 敷地及び建物

小原福祉ビレッジ

敷地面積 44,308.24 平方メートル

建 物 鉄筋コンクリート造平屋 一部 2 階建て 1,650.34 平方メートル

(施設内学級 鉄骨造平屋 272.64 平方メートル)

新多目的室 170.45 平方メートル

(4) 設置及び経営

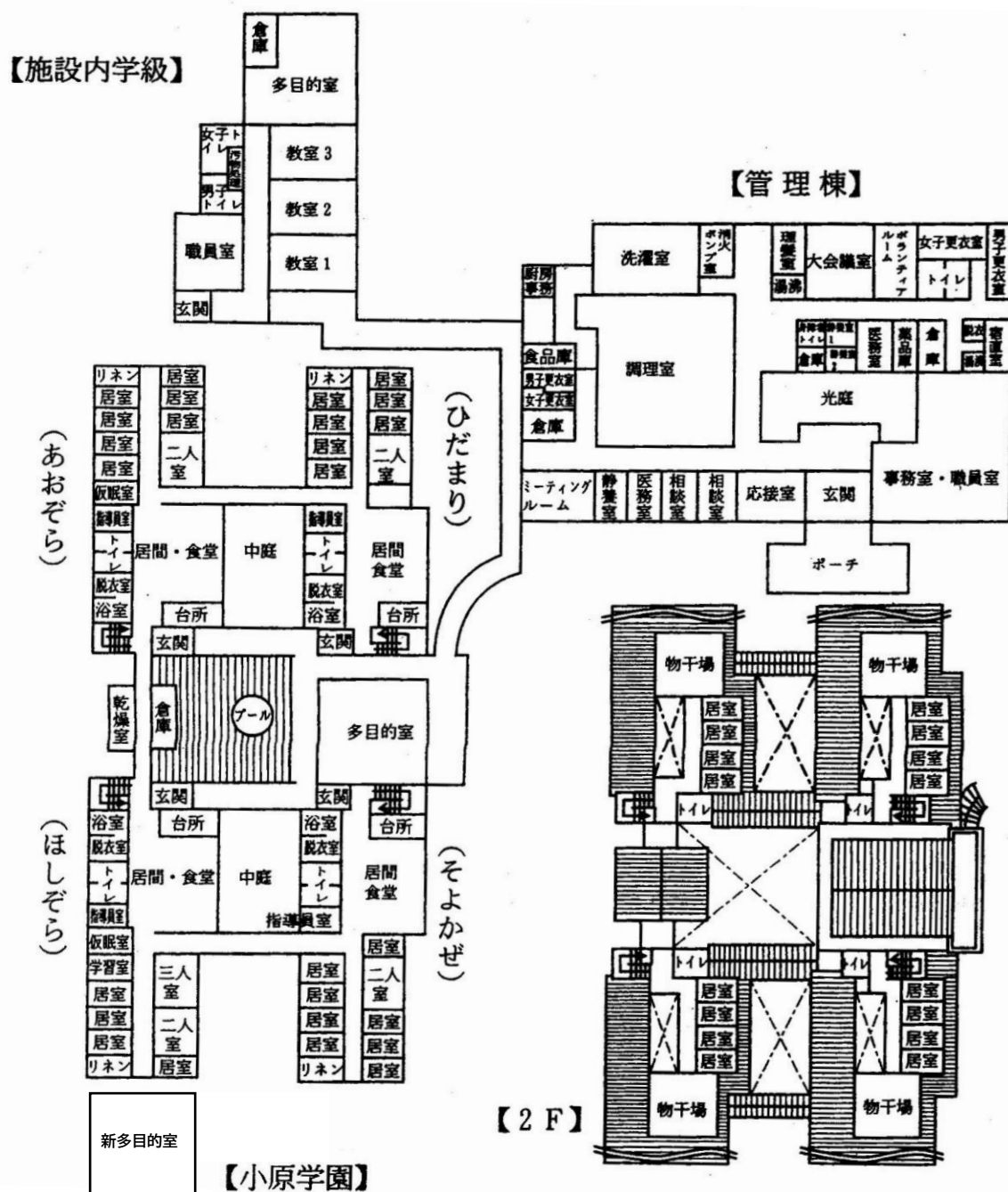
社会福祉法人 昭徳会

(5) 入所定員 35 人(ショート 4 人)

(6) 沿革

昭和12年 4 月	当時名古屋医科大学（現名古屋大学医学部）教授であった杉田博士が名古屋昭和区に「八事少年寮」を創設。
昭和24年 8 月	昭徳会が「八事少年寮」(定員 60 名)の経営を引き継ぐ。
昭和35年11月	法人自ら経営する養護施設「光明寮」を軽度の児童のための知的障害児施設に切り替え、「八事少年寮」(定員 120 名)には、中度及び重度の児童を、「光明寮」(定員 60 名)には軽度の児童を入所させ分類処遇を確立する。
昭和40年 4 月	三好町に移転。名称を「愛知県立三好学園」とする。「光明寮」・「八事少年寮」の建物の老朽化に伴い、両施設を統合。入所定員は 180 名。
昭和40年 7 月	定員 20 名の重度棟を増設する。入所定員が 200 名となる。
昭和54年 4 月	養護学校の義務教育化に伴い、全員就学となる。
昭和56年 4 月	知的障害者更生施設「三好寮」を開設。学園生の措置移行に伴い入所定員が、150 名となる。
昭和57年 4 月	知的障害者更生施設「三好寮」の定員増加に伴い、入所定員が、100 名となる。
平成 9 年 4 月	児童数減少により、暫定定員となる。
平成17年 4 月	豊田市（旧小原村）に移転。名称を「小原学園」とする。定員を減員し、入所定員は 50 名となる。
平成30年 4 月	入所定員を 40 名とし、小規模グループケアを開始する。
平成31年 4 月	三好特別支援学校から瀬戸つばき特別支援学校となる。
令和 7 年 1 月	入所定員が 35 名となる。

(7) 建物平面図



(8) 職種別職員数

() は非常勤

職 種	園 長	児童発達支援 管理責任者	事務員	児童指導員 保 育 士	心理士	介助員	栄養士	嘱託医	合 計
定 員	1	1	1	10		1		(2)	14 (2)
現 員	1	1	2(1)	15(4)	(2)	1	1	(2)	21(9)

2. 援助の概要

(1) 概 況

令和7年4月1日現在の在園児数は32名で、男子19名、女子13名である。

ア. 在園児童数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
男	19	19	17	20	19
女	13	11	14	14	13
合 計	32	30	31	34	32

イ. 年齢

	6歳未満		6歳～12歳未満		12歳～15歳未満	15歳～18歳未満	18歳以上		計
	0～2	3～5	6～8	9～11	12～14	15～17	18～20	20～	
令和5年度	0	2	8	6	9	6	0	0	31
令和6年度	0	2	5	7	13	7	0	0	34
令和7年度	0	1	4	10	8	9	0	0	32

ウ. 障害程度(資料4参照)

	重度	中度	軽度	計
令和5年度	12 (5)	5 (5)	14 (13)	31 (23)
令和6年度	13 (6)	6 (5)	15 (14)※未1含む	34 (25)
令和7年度	12 (6)	4 (3)	16 (14)※未1含む	32 (23)

() 内は虐待理由(ネグレクト含む)での入所者数

令和6年度の高等部3年生は3名であったが、進路は年度内に決まり、皆無事退園することができた。令和7年度は32名でのスタートとなった。

障害の程度及び利用者の割合は、令和6年度と比べて重中軽度利用者の割合に変化はなく、虐待(ネグレクト含む)の割合も変わらず高く、全体の70%を超えた。

年齢では高等部3年生3名が退園したが、入所平均年齢は昨年度から0.4才上がり、11.9歳となった。

(2) 援助目標

4つの援助目標を基本とし、利用者の発達段階を3つに大別し、各利用者の能力に応じた援助を行っている。

① 4つの援助目標

(ア) 日常生活に必要な基本的な習慣を身につける。

(イ) 自分や他人の体の安全を守り、健康の増進と運動能力の向上につながる日常生活を身につける。

(ウ) 情緒の安定と精神活動の活発化及び社会性の向上を目指した生活を築く。

(エ) 作業及び学習をととして、社会生活に必要な技能の習得を図る。

② 発達段階別援助

(ア) 身辺生活の自立

基本的生活習慣(排泄・洗面等)の習得や集団生活をとれるようにしたり、清掃などを通して作業の基本を学ぶことを中心に多面的な援助を行う。

(イ) 学習能力の伸長

基本的生活が確実に身につくように援助するとともに、交通安全など自分の身を守ること、お手伝いなどの作業、数字などの教材に関することを中心に援助を行う。

(ウ) 生活能力の伸長

基本的生活習慣がおおむね自立している利用者を中心に、礼儀作法などきめ細かい高度な生活習慣をめざし、私生活のあり方、余暇時間の過ごし方、金銭の取り扱いなどを中心に援助を行う。

(3) 重点目標

【笑顔あふれるみんなの家

～声に出して届けよう あいさつ・気づき・思いやり～】

(4) 生活目標

項 目	生 活 の め あ て
集 団 仲間意識	友達と仲良くし、互いに協力する態度を身につける。
食 事	みんなでおいしく食事をいただくために、食事のマナーを身につける。
清 掃	自分たちの身の回りから、きれいに掃除することを学ぶ。
価 値	自分の物と、他人の物との区別を知り、すべての物を大切にすることを学ぶ。
着 脱	衣服の正しい着方や履物の正しい履き方を身につける。
清 掃	手や足をきれいに洗い、衣類が汚れたときは着替えて、いつも清潔を保つようにする。

(5) 日課表

6:30	起床・トイレ誘導 着替え・洗面、清掃・配膳
7:00	朝食
7:20	登校準備
7:40	高等部登校
8:00	道慈小学校・小原中学校登校
8:50	施設内学級登校
11:30	配膳
12:00	昼食
15:00	施設内学級・道慈小学校下校（おやつ）
16:00	高等部・小原中学校下校（おやつ） 自由時間
17:30	夕食
18:00	自由時間 入浴
20:00	年少児就寝
21:00	就寝準備・就寝 特に希望する年長利用者については 22:00 就寝とする。
(注)	＊日曜日・祝日（学校の休業日を含む）の場合、全利用者ともに 7:00 起床 7:30 朝食 また、前日の就寝は、22:00 とする。 ＊日課については、一部(起床時間等)を変更する等して歳相応の 生活リズムを提供していく。

(6) 短期入所の取り組み

学園は施設の専門機能を生かし地域の社会資源の一つとして、在宅福祉サービスの充実に努め、短期入所の受け入れや取り組みを積極的に行っている。

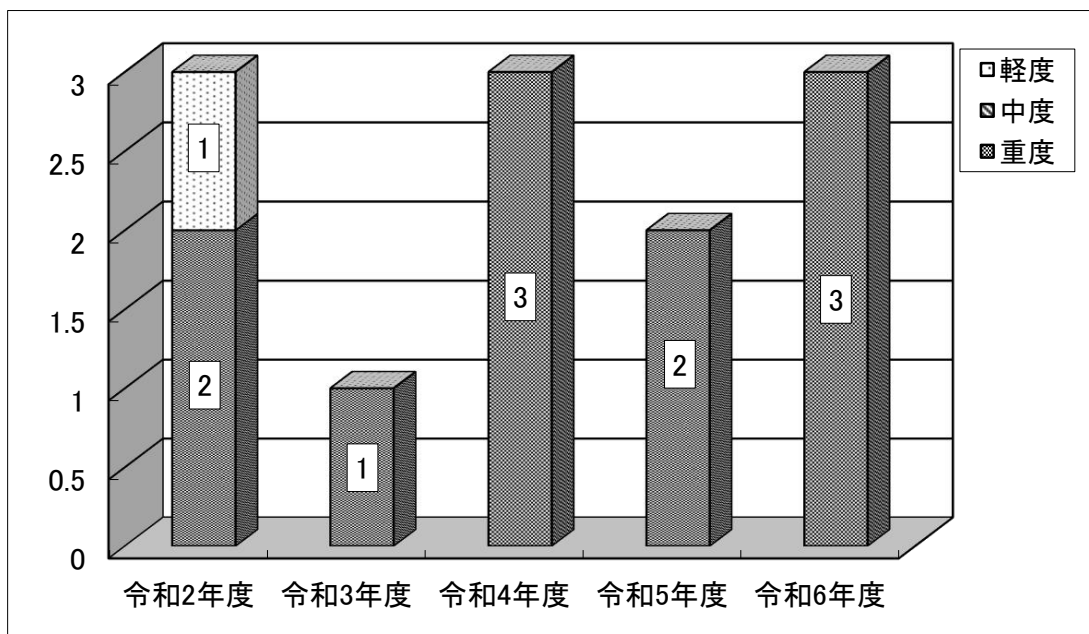
① 短期入所登録状況

区 分	性 別			合併症				市 町 村 別										
	男	女	計	自 閉 症	染 色 体 異 常	身 体 障 害	発 作	豊 田 市	み よ し 市	豊 明 市	大 府 市	安 城 市	日 進 市	尾 張 旭 市	知 多 市	瀬 戸 市	東 郷 町	計
	11	3	14	9	2	1	0	9	0	0	0	2	0	1	0	2	0	14

() は再登録

短期入所年度別新規登録障害状況

(単位 : 人)



新規登録者は3名

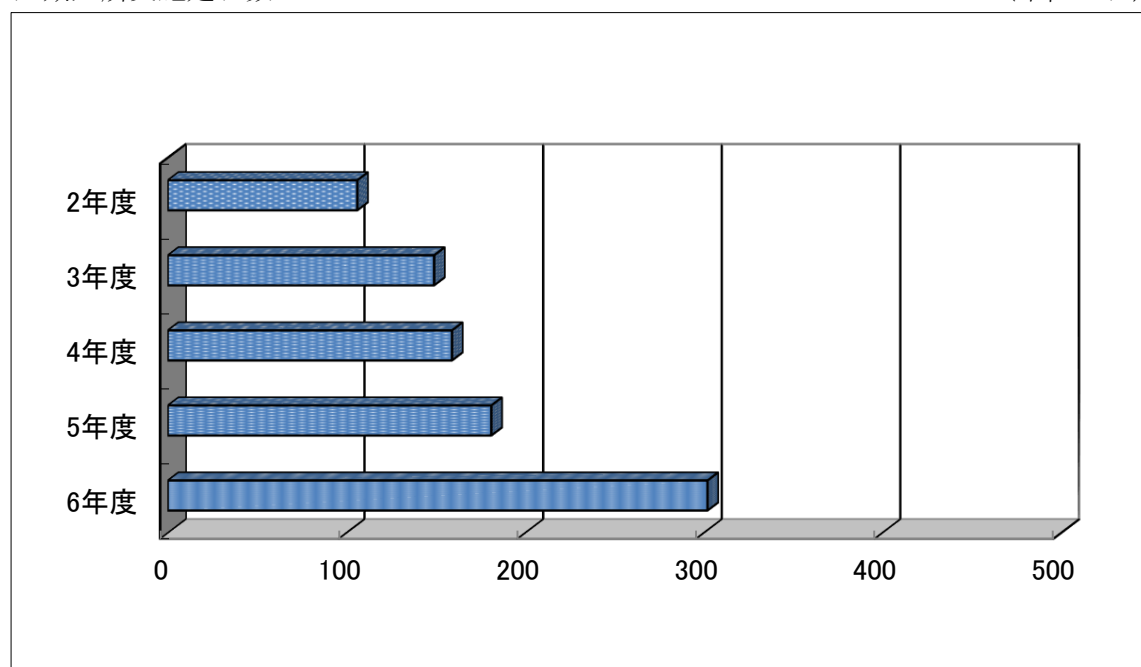
令和6年度新規登録は3名で全て重度利用者であった。
登録者は4歳から高校生3年生までの児童で、「仕事の都合」や「集団に慣れるための利用(有事の際に利用したい)」、「家族の病気・入院」など保護者の多様なニーズへの対応が求められた。

② 短期入所実施状況
(ア) 1件あたりの利用日数

年度	区分	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	20日	21日			計	措置 入所	延人数 延日数
2年度	人 数	36	21	1		1											1				60		60
	利用日数	36	42	3		5											20				106		106
3年度	人 数	69	33												1						103		103
	利用日数	69	66												14						149		149
4年度	人 数	85	34				1														120		120
	利用日数	85	68				6														159		159
5年度	人 数	65	55	2																	122		122
	利用日数	65	110	6																	181		181
6年度	人 数	74	97	5	2	1	1														180		180
	利用日数	74	194	15	8	5	6														302		302

短期入所実施延日数

(単位：日)



短期入所、一日あたり0.8人の利用

実施延日数は令和5年度と比べて100日以上増加し、令和2年度から4年続けて一日あたりの利用日数が増加した。

(イ) 短期入所の月別利用日数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人 数	5年度	13	14	9	26	22	11	13	10	7	21	17	18
	6年度	20	22	23	24	28	30	16	27	22	29	29	32

月平均延べ25日の利用

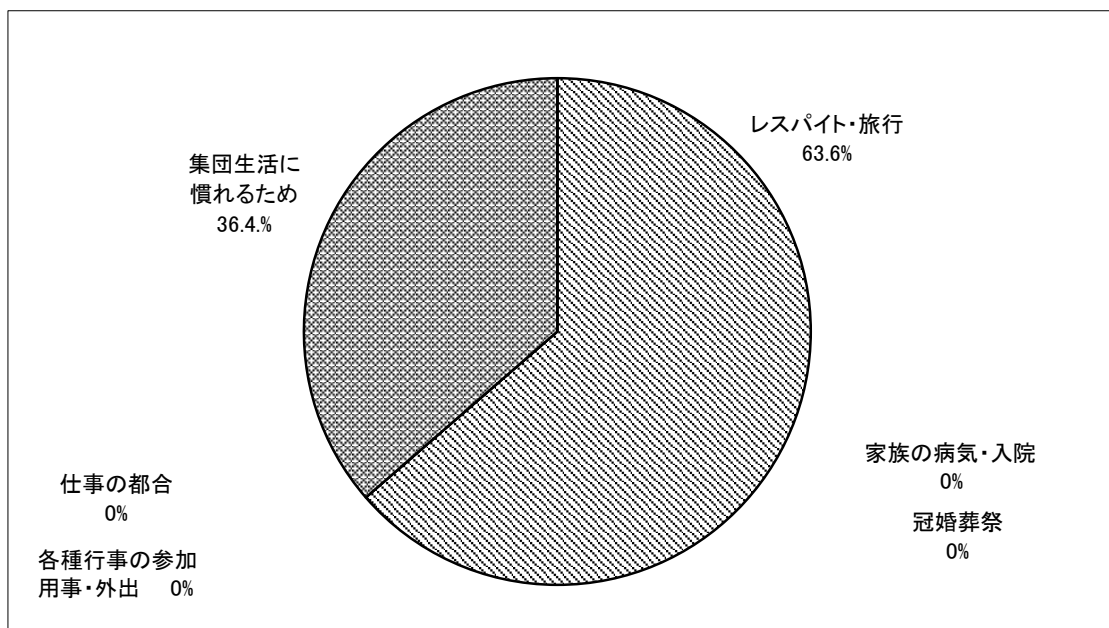
学校の長期休暇月(春休み、夏休み、冬休み)や祝祭日、土日曜日の利用がほとんどであったが、最大6日の連泊での利用もあった。月平均の利用は25日で、利用者数が増えたことで昨年度より増加した。

③ 短期入所の理由

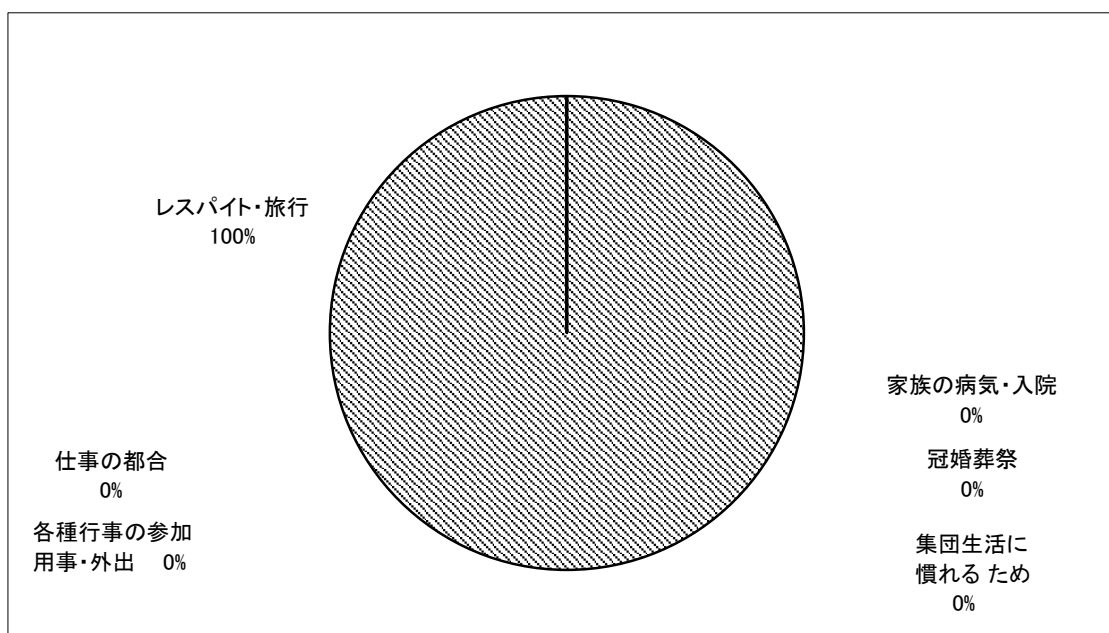
短期入所の理由		
内 訳	件数	延日数
仕 事 の 都 合	0	0
家 族 の 病 気 ・ 入 院 ・ 出 産	0	0
レ ス パ イ ト ・ 旅 行	156	278
各種行事の参加・保護者の用事・外出	0	0
集 団 生 活 に 慣 れ る た め	24	24
冠 婚 葬 祭	0	0
そ の 他	0	0
計	180	302

利用形態別・利用事由の状況

(ア) 日帰りの場合



(イ) 宿泊の場合



宿泊の利用理由「レスパイト」が100%

家庭療育困難な自閉症者及び重度者の利用が多く、「レスパイト(家族の休養)」を理由とした利用が100%となった。日帰りでも、「レスパイト」が6割を占め、家庭の負担軽減に繋がっている。日帰りでは「集団行動に慣れるため」が3割であった。

(7) 令和7年度 年間行事予定

月	日	曜	行事計画	月	日	曜	行事計画
4月	3	木	ひな祭り	10月	6	月	お月見会
	12	土	家庭療育（～13日）		11	土	家庭療育（～12日）
	26	土	家庭療育（～27日）		18	土	3施設合同秋まつり・20周年式典
					25	土	家庭療育（～26日） 自治会主催行事
5月	3	土	GW 家庭療育（～6日）	11月	8	土	家庭療育（～9日）
	24	土	家庭療育（～25日）		22	土	家庭療育（～23日） （～23日）
6月	7	土	家庭療育（～15日）	12月	13	土	家庭療育
	15	日	開山会		13	土	大掃除・園外活動
	21	土	学園祭		24	水	理事長クリスマス慰問
	21	土	家庭療育（～22日）		24	水	クリスマス会
					26	金	餅つき
					27	土	冬季家庭療育
7月	7	月	七夕	1月	1	木	初詣・祝祷会
	12	土	家庭療育（～13日）		2	金	書初め
	18	金	学園夏まつり		12	月	新年会
	26	土	家庭療育（～27日）		24	土	家庭療育（～25日）
8月	9	土	夏季家庭療育（～17日）	2月	3	火	節分
	20	水	洞戸キャンプ（～21日）		7	土	家庭療育（～8日）
	23	土	家庭療育（～24日）		21	土	自治会主催行事 家庭療育（～22日）
9月	13	土	家庭療育（～14日）	3月	6	金	卒業を祝い励ます会
	27	土	家庭療育（～28日）		7	土	雛飾り
					24	火	家庭療育（～8日） 春季家庭療育（～4/1）

上記の他、随時、地域での買い物や、個別の要望に沿った園外活動等をする機会等を設けている。また、毎月、原則2,4の週末を「家庭療育日」として、家庭との絆を深め、利用者の心の安定を図ることにしている。家庭療育や面会の予定のない利用者に対しては、適宜園外指導により、社会体験、社会見学等を企画し実施している。

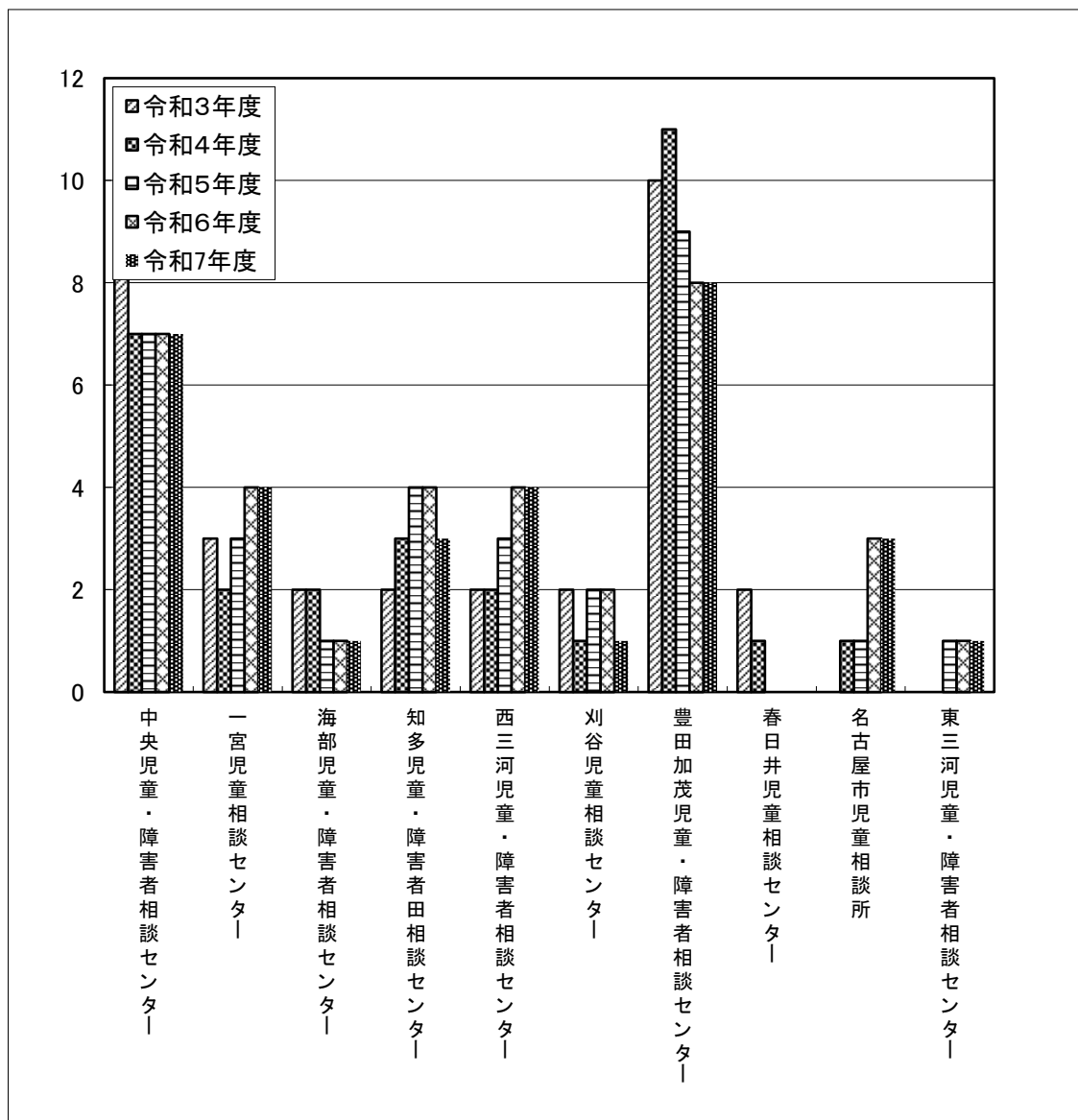
3. 利用者の状況

(1) 措置機関別

措置機関別入所児数

毎年4月1日現在（単位：人）

（資料1 参照）



豊田加茂が最多

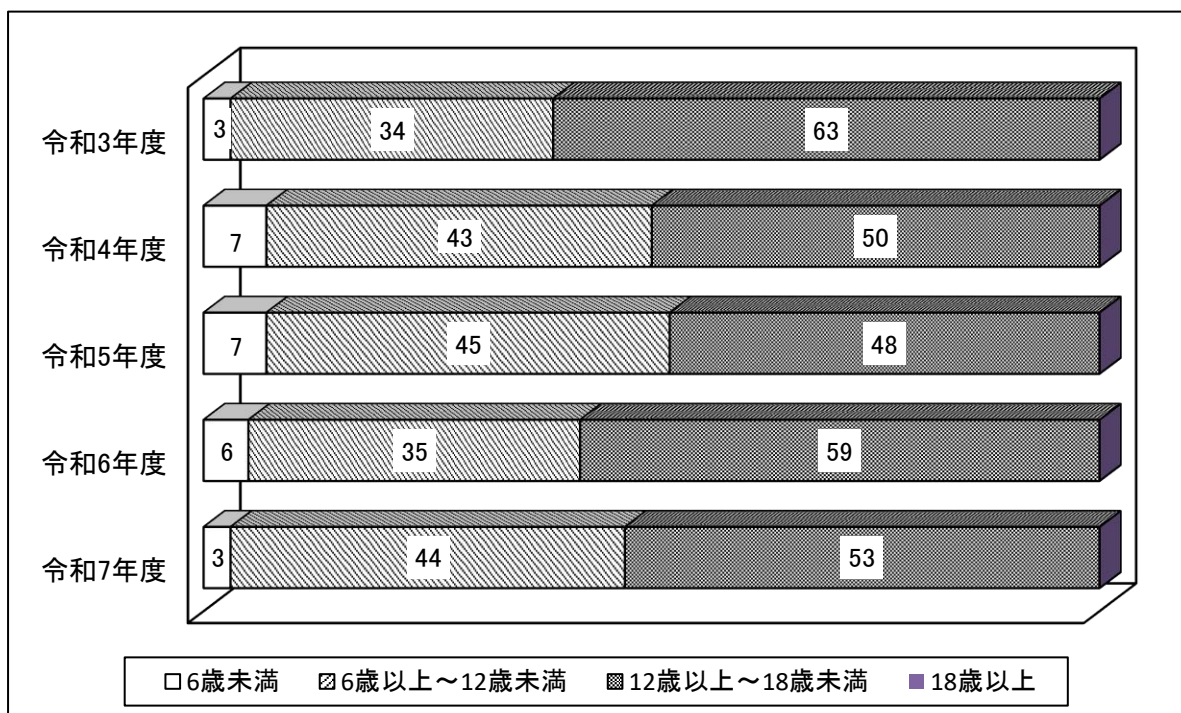
昨年度3名の利用者が退所して1名が年度途中で入所し、今年度は新入所者はおらず、昨年度より2名減少となった。昨年度と比べて知多、刈谷が減少した。東三河、西三河、中央、海部、名古屋、一宮、豊田加茂は変化なし。春日井と新城・設楽からの入所者はいない。

(2) 年齢別

区 分	6 歳未満	6 歳以上～ 12 歳未満	12 歳以上～ 18 歳未満	18 歳以上
令和 3 年度	1	11	20	0
令和 4 年度	2	13	15	0
令和 5 年度	2	14	15	0
令和 6 年度	2	12	20	0
令和 7 年度	1	14	17	0

(資料 2 参照)

(単位：％)

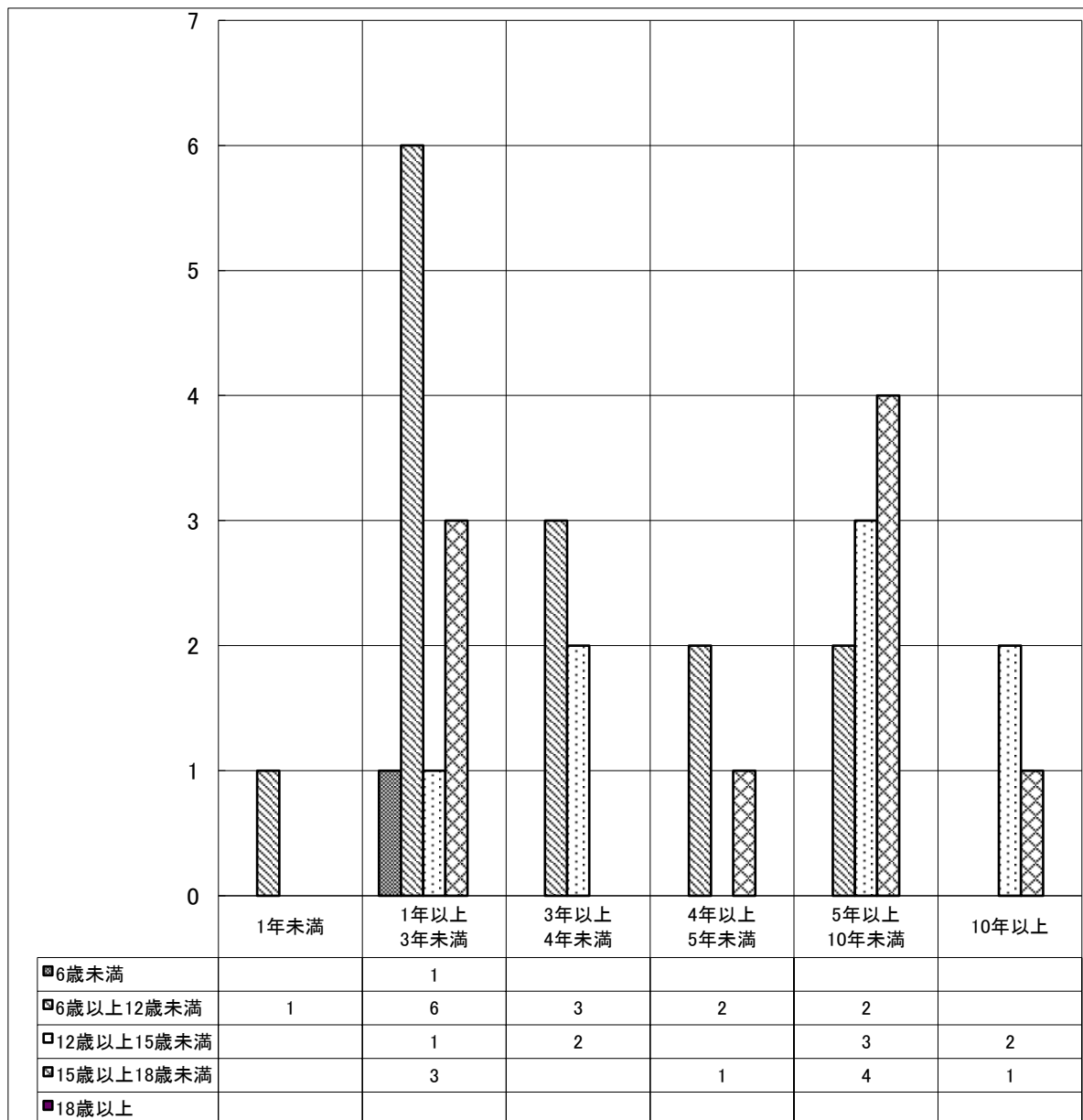


平均年齢は 11.9 歳

女子の平均は昨年度と変わらず 12.3 歳、男子の平均は昨年度から少し増加し 11.6 歳となった。全体の平均年齢は 11.9 歳である。

(3) 在園期間別年齢構成

4月1日現在（単位：人）



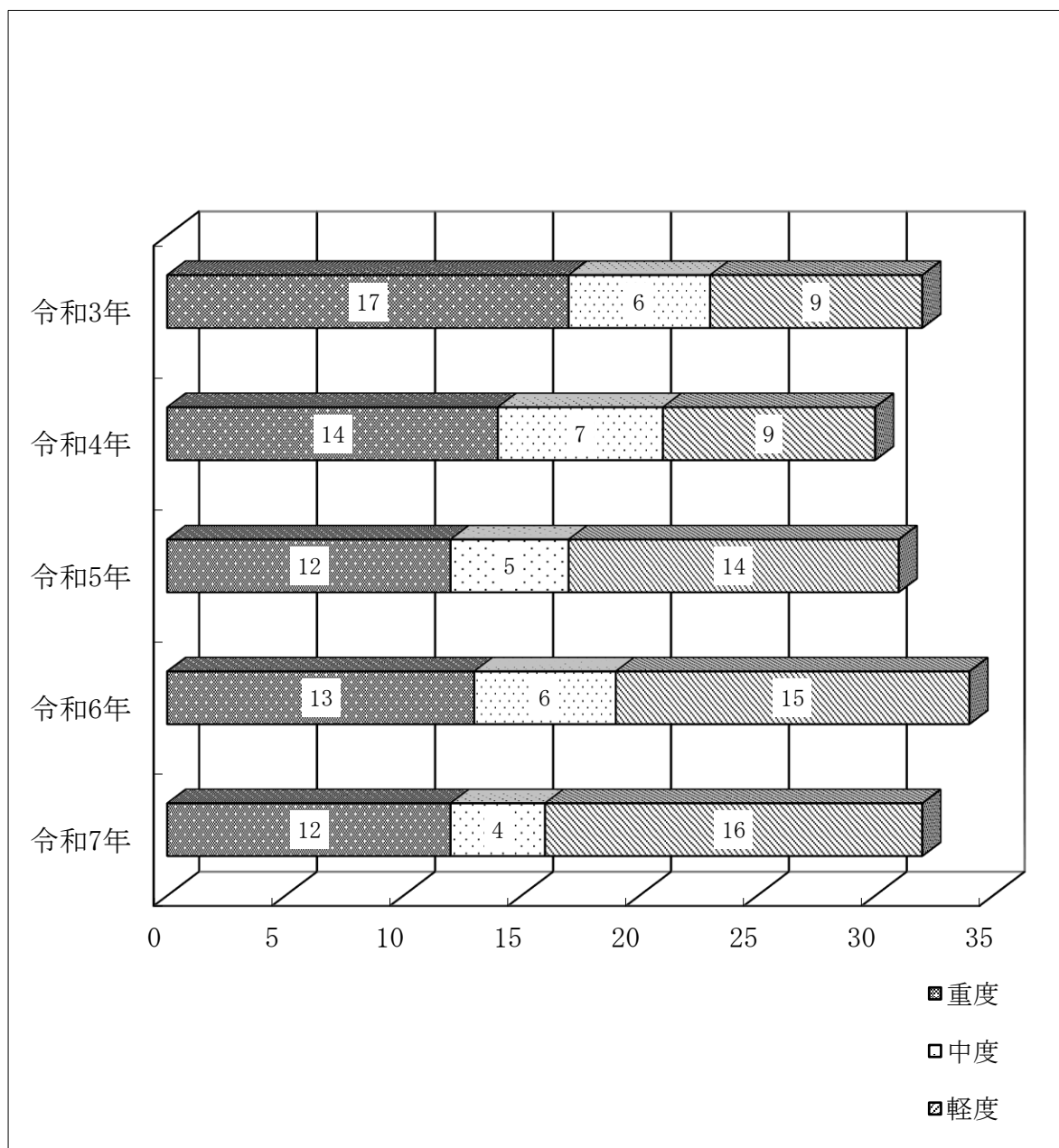
(資料3参照)

年齢超過児童 0 名

昨年度に高等部3年生が3名退所し、昨年度に引き続き年齢超過児童はいない。在園期間は1年以上3年未満が最も多く11名となっており、次いで5年以上10年未満が多く9名で、他は概ね同じ人数となっている。

(4) 障害程度

(単位：人)



※軽度に手帳非該当の利用者 1 名を含む。

中軽度の割合が重度を上回った

重度者が 1 名減って 12 人、中軽度者が 20 人となり、昨年度に引き続き、中軽度者の割合が重度者の割合を上回ることになった。重度者の内訳は男子利用者が 75%、女子利用者が 25%と男子重度者の割合が多い。

(5) 合併症

(単位：人)

区 分		無	有	「有」者の内訳 (症状が2項目以上ある場合は、各々に計上)				
				自閉症	身体障害	染色体異常	発作	その他
重 度		0	12 (17)	(7)	(0)	(3)	(1)	(7)
中 度		0	4 (7)	(2)	(0)	(0)	(0)	(5)
軽 度		7	9 (11)	(4)	(0)	(0)	(0)	(7)
計		7	25 (35)	(13)	(0)	(3)	(1)	(19)
内 訳	男	4	16 (22)	(9)	(0)	(2)	(1)	(11)
	女	3	12 (17)	(4)	(0)	(1)	(0)	(8)

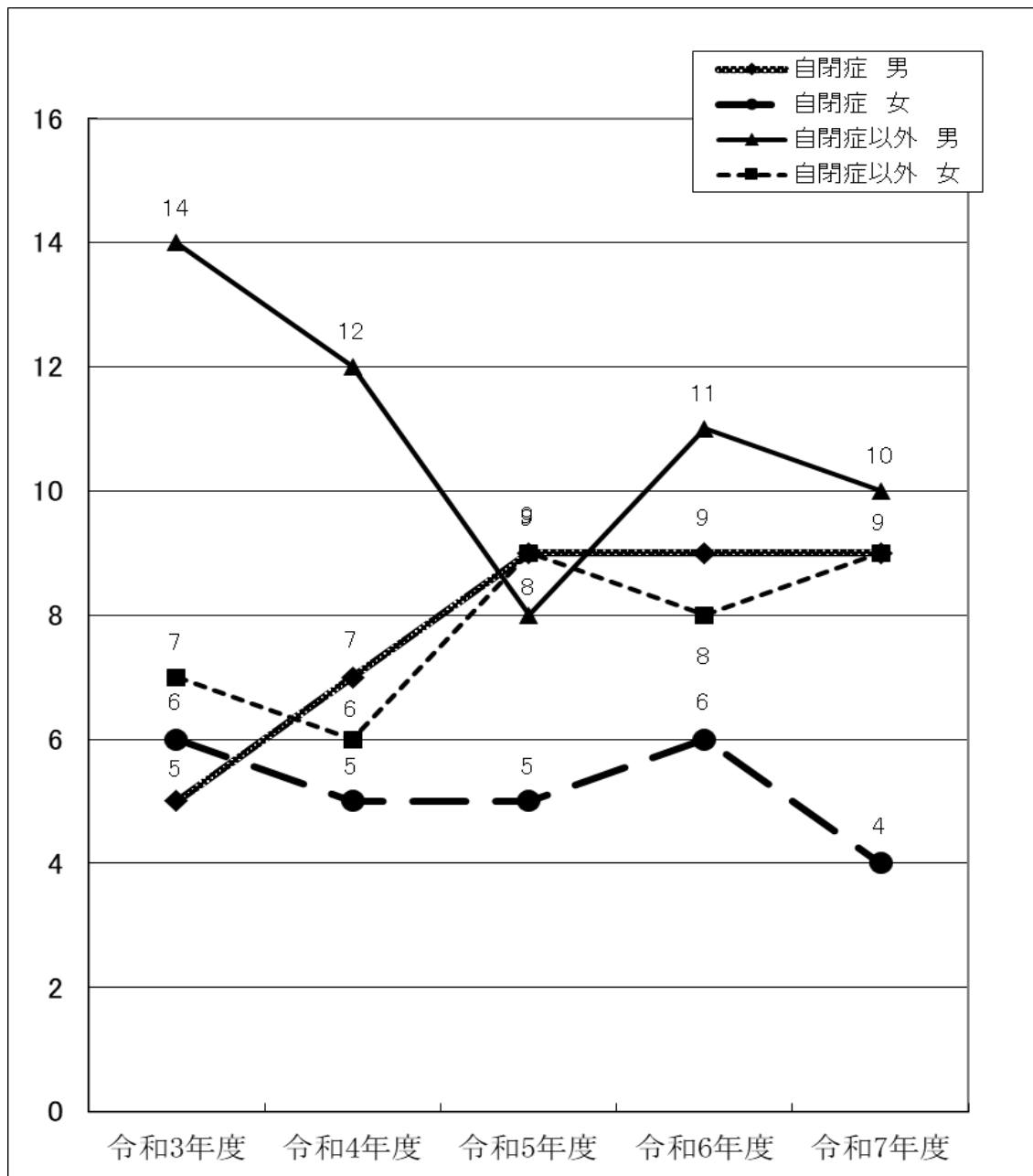
※軽度到手帳非該当の利用者1名を含む。

—— 全体の78.1%が合併症「有」 ——

合併症の中で多く見られる自閉症は利用者全体の40.6%、合併症の37.1%を占めている。染色体異常の項目にはダウン症が含まれる。合併症の「その他」の項目には、ADHD、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、中耳炎、喘息が挙げられている。

(6) 自閉症（自閉症傾向を含む）

毎年4月1日現在（単位：人）



（資料5 参照）

自閉症利用者の割合は 40.6%

昨年度と比べ自閉症利用者の数は2名減り13名となり、全体での割合は昨年度の44.1%から40.6%に減少した。また、男女別では男子利用者のうち自閉症者が47.4%、女子利用者は30.8%と男子利用者の自閉症比率の方が高い。

(7) 言語

(単位：人)

区 分		会話ができる	話せるが二語文である	単語のみ	言語なし	計
重 度		1	3	0	8	12
中 度		2	1	0	1	4
軽 度		16	0	0	0	16
計 (%)		19 (59.4%)	4 (12.5%)	0 (0%)	9 (28.1%)	32 (100%)
1	男	8	2	0	9	19
	女	11	2	0	0	13

<項目ごとの比率(%)は小数点第2位を四捨五入している。>

※軽度に手帳非該当の利用者1名を含む。

59.4%が会話可

軽度利用者の割合が多くなったことや年少利用者が成長したことで、昨年度と比べて言語でやり取りができる割合が増えた。言語理解や表出がうまく行えない利用者に対しては、簡単な声掛けやジェスチャー、写真等を利用して、利用者に合ったコミュニケーションが取れるよう支援している。

(8) 障害の状況

区 分	食 事 関 係							排 泄 関 係							
	症状 無	症状 有	「有」の内訳					症状 無	症状 有	「有」の内訳					
			過食	異食	盗食	反芻	嘔吐			夜尿	夜便	弄便	放尿	放便	漏便
男	13	6 (15)	(4)	(5)	(5)	(1)	(0)	7	12 (17)	(10)	(1)	(0)	(4)	(1)	(1)
女	13	0 (0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	9	4 (4)	(3)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)
計	26	6 (15)	(4)	(5)	(5)	(1)	(0)	16	16 (21)	(14)	(2)	(0)	(4)	(1)	(1)

区分	睡 眠 関 係			
	症状 無	症状 有	「有」の内訳	
			浅眠	夜中に起きて徘徊
男	12	7 (12)	(7)	(5)
女	11	2 (3)	(3)	(1)
計	23	9 (15)	(9)	(6)

(注)「有」の内訳は該当する項目全てに計上しており、()は延べ人数となる。

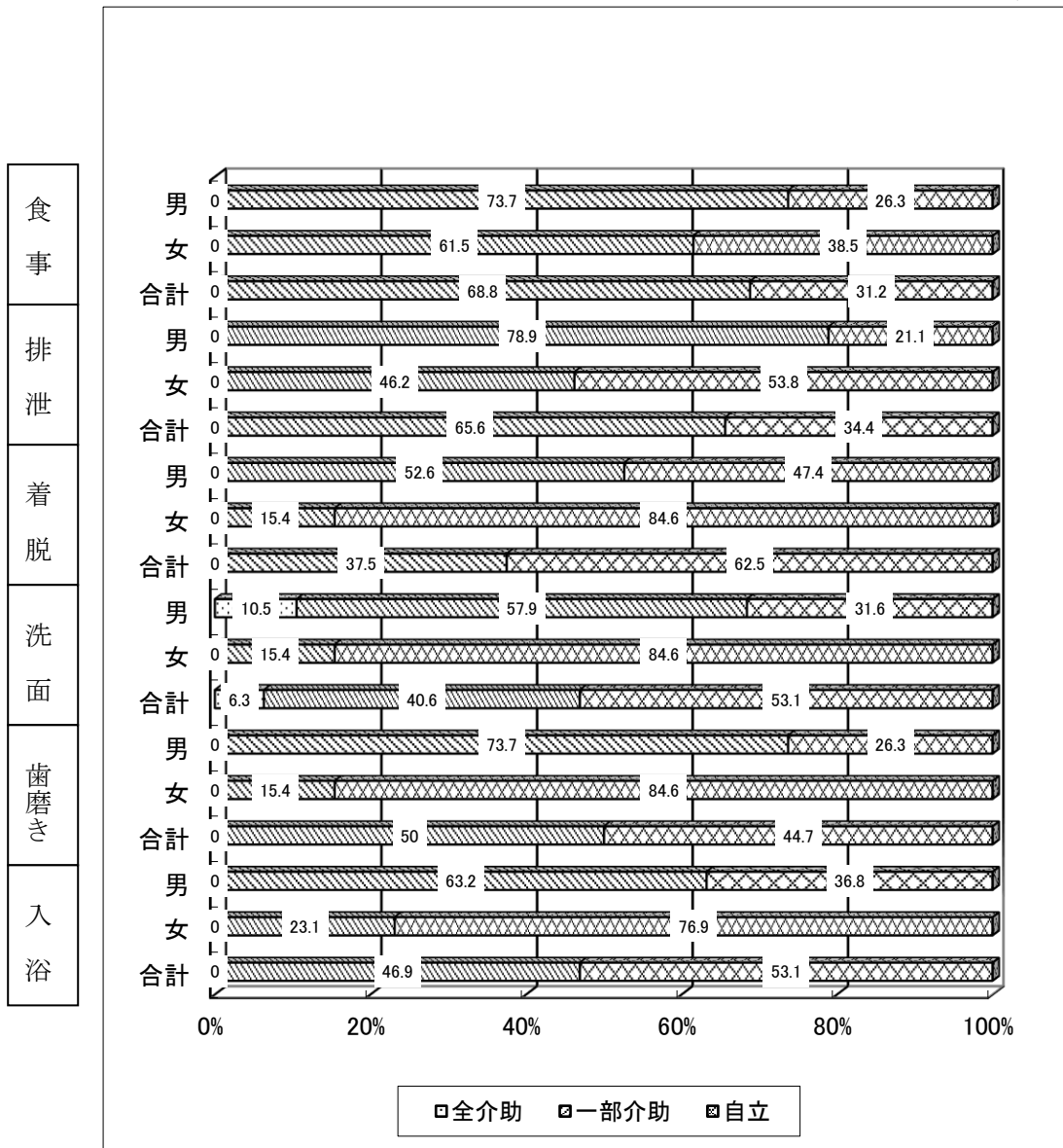
区分	そ の 他 行 動 関 係														
	症状 無	症状 有	「有」の内訳												
			乱暴	器物破損	盗癖	自傷	奇声	破衣	脱衣	自慰	固執	多動	無外	肛門触り	つば遊び
男	7	12 (58)	(11)	(9)	(6)	(3)	(7)	(1)	(2)	(1)	(3)	(9)	(4)	(0)	(2)
女	6	7 (15)	(4)	(2)	(4)	(3)	(1)	(0)	(0)	(0)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)
計	13	19 (74)	(15)	(11)	(10)	(6)	(8)	(1)	(2)	(1)	(5)	(9)	(4)	(0)	(2)

行動関係の変化

昨年度に比べ、食事関係の症状を持つ女性利用者はいなくなり、排泄、睡眠、その他行動関係で大きな変動は見られていない。不適応行動では、一人の利用者が様々な行動を併せ持つ傾向が昨年に引き続き表れている。

(9) 介助の程度別

(単位：％)



(資料 6 参照)

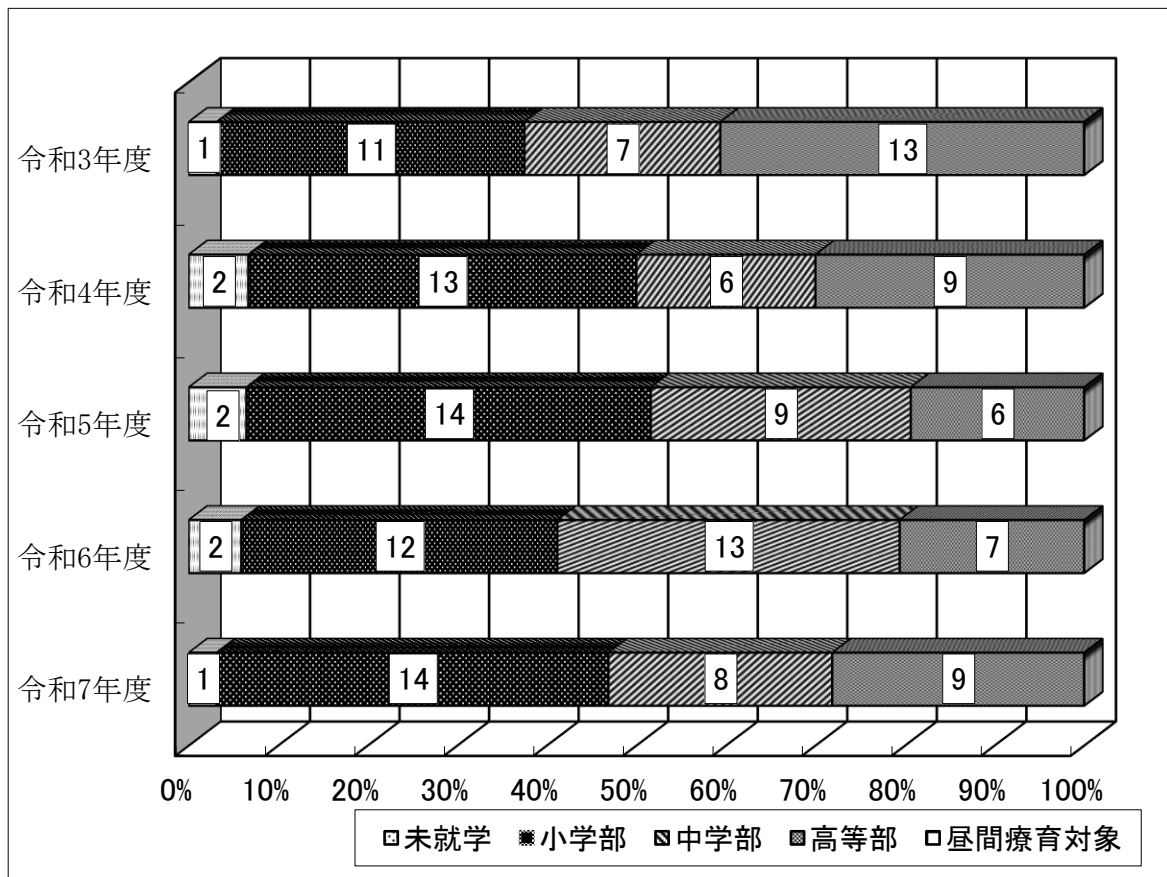
「着脱」と「排泄」の自立度

昨年同様「着脱」の自立度が62.5%と高く、一番自立度が低い項目は昨年同様「入浴」であった。利用者の年齢が上がり自分でできる力がついたことで、「全介助」は洗面のみとなった。歯磨き是一部介助と自立が半々であった。

(10) 就 学

(毎年 4 月 1 日現在)

(単位 : %)



(単位 : 人)

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和年 7 度
未就学	1	2	2	2	1
小学部	11	13	14	12	14 (7)
中学部	7	6	9	13	8 (2)
高等部	13	9	6	7	9
昼間療育対象	0	0	0	0	0
計	32	30	31	34	32 (9)

※カッコ内は地域の学校へ通学している児童数

(資料 7 参照)

小学部の半数が地域の小学校へ通う

昨年度途中に 1 名の利用者が入所したが、昨年度末に 3 名退所したことで利用者数が減った。3 年ぶりに未就学が 1 名となり、全体の半数近くが小学部利用者となった。小学部利用者 14 名のうち半数が地域の小学校に通っている。

4. 健康管理

(1) 医療機関等受診、治療状況

① 各科別受診回数状況比較(延人数)

(単位：回)

診療科	内 科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	神 精 神 科	耳 鼻 科	眼 科	皮 膚 科	歯 科	循 環 器 科	婦 人 科	予 防 接 種	リ ハ ビ リ	健 脳 波 康 診 検 査	総 延 人 数
令和2年度	39	64	9	7	136	68	20	132	64	1	0	39	0	12	591
令和3年度	50	88	0	9	82	50	17	102	49	1	0	71	6	9	534
令和4年度	74	10	9	9	65	35	12	83	9	0	1	31	0	127	465
令和5年度	116	32	3	10	53	44	12	111	46	1	3	9	32	76	548
令和6年度	207	30	1	12	73	89	11	134	90	1	18	36	17	2	721

② 診療科別受診状況(投薬のみの受け取りも含む)

(単位：回)

区 分		内 科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	神 經 科	精 神 科	耳 鼻 科	眼 科	皮 膚 科	齒 科	循 環 器 科	婦 人 科	予 防 接 種	リ ハ ビ リ	脳 波 検 査	健康 診断	計
4月	延人数	0	5	0	8	5	13	3	21	0	0	1	0	1	1		58	
	実人数	0	4	0	3	5	11	2	11	0	0	1	0	1	1		39	
5月	延人数	2	2	0	0	5	5	0	11	0	1	1	0	1	0		28	
	実人数	2	2	0	0	5	5	0	10	0	1	1	0	1	0		27	
6月	延人数	6	2	0	0	8	2	0	11	14	0	1	0	1	0		45	
	実人数	6	2	0	0	6	2	0	10	14	0	1	0	1	0		42	
7月	延人数	22	3	0	0	7	6	0	7	34	0	3	0	0	0		82	
	実人数	12	3	0	0	7	6	0	5	34	0	2	0	0	0		69	
8月	延人数	6	1	0	0	5	1	2	10	20	0	0	0	0	0		45	
	実人数	4	1	0	0	5	1	2	10	18	0	0	0	0	0		41	
9月	延人数	6	2	0	0	6	2	0	8	3	0	2	0	2	0		31	
	実人数	6	2	0	0	6	2	0	6	2	0	2	0	1	0		27	
10月	延人数	46	0	0	0	7	7	1	7	0	0	0	34	4	0		106	
	実人数	15	0	0	0	7	7	1	6	0	0	0	34	3	0		73	
11月	延人数	15	3	0	0	7	11	0	11	0	0	7	0	1	0		55	
	実人数	10	2	0	0	7	9	0	10	0	0	3	0	1	0		42	
12月	延人数	20	3	1	3	6	14	3	17	1	0	0	0	0	0		68	
	実人数	10	2	1	2	6	8	3	12	1	0	0	0	0	0		45	
1月	延人数	9	3	0	1	7	10	0	11	7	0	1	0	2	0		51	
	実人数	6	3	0	1	7	8	0	10	4	0	1	0	1	0		41	
2月	延人数	56	2	0	0	5	8	1	12	10	0	0	0	2	1		97	
	実人数	18	2	0	0	5	8	1	10	5	0	0	0	1	1		51	
3月	延人数	19	4	0	0	5	10	1	8	1	0	2	2	3	0		55	
	実人数	12	4	0	0	5	8	1	8	1	0	2	2	2	0		45	
計	延人数	207	30	1	12	73	89	11	134	90	1	18	36	17	2		721	
	実人数	101	27	1	6	71	75	10	108	79	1	13	36	12	2		542	

令和6年度の受診状況

内科では、新型コロナウイルス、インフルエンザの感染者は無かったが、感染性胃腸炎、咳、鼻水等が続いた利用者さんの通院人数が大幅に増えたが軽症ですんだ。
耳鼻科、眼科は花粉症が増加し通院回数も増加となった。
神経科、精神科は、不安定、不眠等の利用者や初診通院の利用者さん2名があり投薬内容調整のために、通院回数は増加になったが、症状の安定で長期投薬者もあった。
歯科は、むし歯、歯石、歯肉炎、歯並び異常等の利用者があり定期通院も増加した。定期健診(年4回の歯磨き指導、フッ素塗布あり)や支援者の早期発見報告、利用者自身の訴えがあり通院対応することが行えて良く助かった。毎日の歯磨き、早期治療が大切なために、今後も継続していきたい。
皮膚科は、アトピー性皮膚炎が殆どで、虫刺され、にきび、蕁麻疹の利用者も数名いた。
婦人科は、生理不順(生理周期や数ヶ月無い)者数名と卵管異常者で通院した。

③学園内治療状況

(令和6年度) 単位：回

区分		内科	外傷	自傷	捻打挫撲	処皮膚 置科	処眼 置科	処耳 鼻 置科	計
4月	延人数	0	0	0	0	67	2	0	69
	実人数	0	0	0	0	5	1	0	6
5月	延人数	0	0	1	0	69	4	0	74
	実人数	0	0	1	0	6	3	0	10
6月	延人数	2	0	0	0	71	0	9	82
	実人数	1	0	0	0	5	0	1	7
7月	延人数	0	1	0	2	70	0	20	93
	実人数	0	1	0	1	5	0	2	9
8月	延人数	1	0	0	0	72	2	15	90
	実人数	1	0	0	0	5	1	1	8
9月	延人数	0	0	0	1	63	0	0	64
	実人数	0	0	0	1	5	0	0	6
10月	延人数	2	0	0	2	60	0	0	64
	実人数	1	0	0	1	5	0	0	7
11月	延人数	0	1	1	0	64	1	0	67
	実人数	0	1	1	0	6	1	0	9
12月	延人数	1	0	0	0	66	0	3	70
	実人数	1	0	0	0	6	0	1	8
1月	延人数	0	0	0	0	65	0	5	70
	実人数	0	0	0	0	5	0	1	6
2月	延人数	1	1	0	1	63	7	10	83
	実人数	1	1	0	1	5	5	1	14
3月	延人数	0	0	0	2	67	14	0	83
	実人数	0	0	0	1	5	6	0	12
計	延人数	7	3	2	8	797	30	62	909
	実人数	5	3	2	5	63	17	7	102

(2) 肥満度状況

カウプ指数（未就学児対象）・ローレル指数（小学生・中学生対象）・BMI（高校生対象）
にわけ、肥満度を算出した。

ア・カウプ指数（未就学児対象） 令和7年3月現在（単位：人）

		男 子	女 子
やせぎみ	15 以下	0	0
普通	15～18 未満	2	0
太りぎみ	18 以上	0	0

イ・ローレル指数（小学生・中学生対象）

		男 子	女 子
標準以下	100 未満（やせすぎ）	1	0
	100～115 未満（やせてる）	4	2
標準	115～145 未満（普通）	10	8
標準以上	145～160 未満（太ってる）	0	0
	160 以上（太りすぎ）	0	0

ウ・BMI（高校生対象）

		男 子	女 子
標準以下	18.5 未満（やせてる）	0	1
標準	18.5～25 未満（普通）	3	2
標準以上	25～30 未満（肥満Ⅰ）	0	1
	30～35 未満（肥満Ⅱ）	0	0
	35～40 未満（肥満Ⅲ）	0	0
	40 以上（肥満Ⅳ）	0	0

標準は全体の約 74%

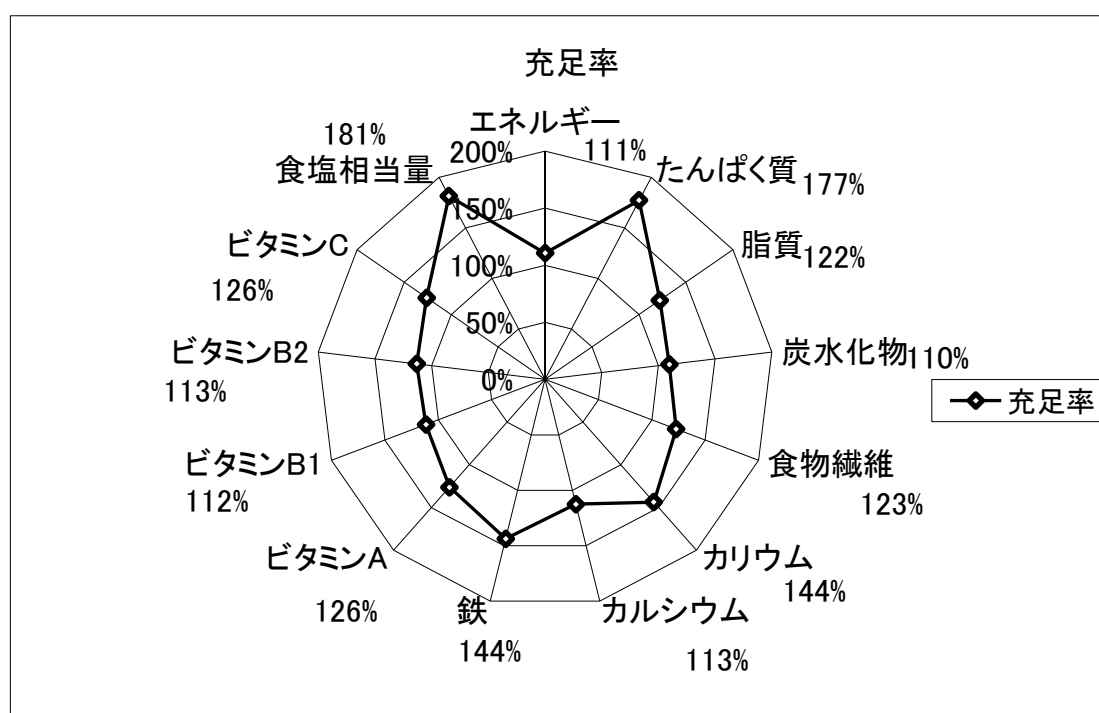
利用者 34 名中、カウプ指数対象者 2 名、ローレル指数対象者 25 名、BMI 対象者 7 名であった。25 名の利用者が標準範囲内にいる。やせの利用者は 8 名いるが、殆どの利用者が標準値に近く年齢にあったカロリー摂取は取れているために変化に気づくように心掛けて見守っている。標準以上の利用者 1 名は長期帰省時に体重増加があり、帰省前後の変化に気を付けた。標準値に近かったが生活習慣病の予防のために、日常の運動、食事及び、おやつ、歯磨き等には気配りをしながら今後も行っていきたい。

5. 栄養摂取の状況

(令和6年度)

区分	エネルギー kcal	たんぱく質 g	脂質 g	炭水化物 g	食物繊維 g	カリウム mg	カルシウム mg	鉄 mg	ビタミンA μg	ビタミンB1 mg	ビタミンB2 mg	ビタミンC mg	食塩相当量 g
4月	2,345	81.6	70.0	337.5	17.7	2,587	852	11.6	780	1.26	1.42	110	10.5
5月	2,397	81.9	72.4	346.8	17.9	2,598	821	11.3	801	1.26	1.37	113	10.9
6月	2,394	82.5	73.6	339.4	17.6	2,606	808	11.4	814	1.24	1.40	116	10.4
7月	2,370	83.1	71.9	336.2	18.2	2,783	826	11.5	850	1.37	1.46	121	10.5
8月	2,437	83.5	74.8	348.0	17.8	2,638	854	11.4	761	1.30	1.46	102	10.8
9月	2,410	83.4	74.0	342.1	18.0	2,768	847	11.6	836	1.26	1.49	110	10.7
10月	2,413	83.3	74.2	343.0	17.8	2,621	889	11.3	832	1.28	1.47	97	11.0
11月	2,436	82.8	75.9	344.6	17.8	2,695	893	11.8	859	1.30	1.47	104	11.1
12月	2,398	83.5	72.6	343.1	18.0	2,692	874	11.5	805	1.34	1.44	107	11.0
1月	2,374	84.3	72.2	337.1	18.4	2,702	920	11.8	833	1.25	1.49	109	10.6
2月	2,418	82.7	75.6	342.3	17.8	2,701	873	11.6	810	1.33	1.45	101	11.0
3月	2,677	91.5	83.7	379.0	19.7	2,990	967	12.9	897	1.47	1.61	111	12.1
平均	2,422	83.7	74.2	344.9	18.1	2,698	869	11.6	823	1.31	1.46	108	10.9
基準栄養量	2,188	47.2	60.8	314.6	14.7	1,879	772	8.1	653	1.17	1.29	86	6.0
充足率(%)	111%	177%	122%	110%	123%	144%	113%	144%	126%	112%	113%	126%	181%

*生活活動強度Ⅱ（やや低い）



6. 保護者の状況

(1) 保護者の状況

(令和7年4月1日現在)

区 分		重 度	中 度	軽 度	計	構成比 (%)
両 親	実 父 母	7	2	7	16	50
	実父・継母	1	0	0	1	3.1
	継父・実母	0	0	1	1	3.1
父 親 の み		1	1	3	5	15.7
母 親 の み		3	1	5	9	28.1
そ の 他		0	0	0	0	0
計		12	4	16	32	100

※軽度に手帳非該当の利用者1名を含む。

(2) 保護者の来園状況

(令和6年度)

区 分		月2回以上	月1回以上	不定期	なし	計
両 親	実 父 母	1	3	9	3	16
	実父・継母	0	0	1	0	1
	継父・実母	0	0	1	0	1
父 親 の み		1	0	2	3	6
母 親 の み		0	0	6	5	11
そ の 他		0	0	0	0	0
計		2	3	19	11	35
構成比 (%)		5.7	8.6	54.3	31.4	100

保護者の来園状況

新型コロナウイルス感染防止の為に帰省や面会の制限が昨年度よりさらに緩和されたが、保護者の来園回数はほとんど変動がない。昨年度まで帰省や面会があった利用者が今年度は面会や帰省が実施されなかったことで、昨年度と比較して帰省や面会のない利用者の割合が少し増加した。

(3) 長期家庭療育実施状況

	区分	なし	1～3泊	4～6泊	7～9泊	10泊以上	計	対象利用者数
夏期	令和2年度	24	10	0	0	0	34	34
	令和3年度	24	8	2	0	0	33	33
	令和4年度	23	8	0	0	0	31	31
	令和5年度	21	9	3	0	0	33	33
	令和6年度	24	6	1	3	0	34	34
冬期	令和2年度	24	10	0	0	0	34	34
	令和3年度	21	13	0	0	0	34	34
	令和4年度	22	10	0	0	0	32	32
	令和5年度	21	7	4	1	0	33	33
	令和6年度	27	5	1	1	0	34	34

(4) 令和6年度 家庭状況別長期家庭療育実施状況

	区分		なし	1～3泊	4～6泊	7～9泊	10泊以上	計	備考
夏期	両親	実父母	10	4	1	1	0	16	*夏期の利用者 短期利用は除く 34名
		実父・継母	0	1	0	0	0	1	
		継父・実母	1	0	0	0	0	1	
	父親のみ		5	0	0	1	0	6	
	母親のみ		8	1	0	1	0	10	
	その他		0	0	0	0	0	0	
	計		24	6	1	3	0	34	
冬期	両親	実父母	11	4	1	0	0	16	*冬期の利用者 短期利用は除く 34名
		実父・継母	0	1	0	0	0	2	
		継父・実母	1	0	0	0	0	1	
	父親のみ		5	0	0	1	0	4	
	母親のみ		10	0	0	0	0	10	
	その他		0	0	0	0	0	0	
	計		27	5	1	1	0	34	

夏期・冬期の家庭療育状況

新型コロナウイルス感染防止の為に帰省の制限はほとんど緩和されたが、帰省が実施された利用者は昨年度より減少し2割程度であった。昨年度に続き泊数の制限も緩和されたが、合計宿泊数も少々減少した。

7. 入退所状況

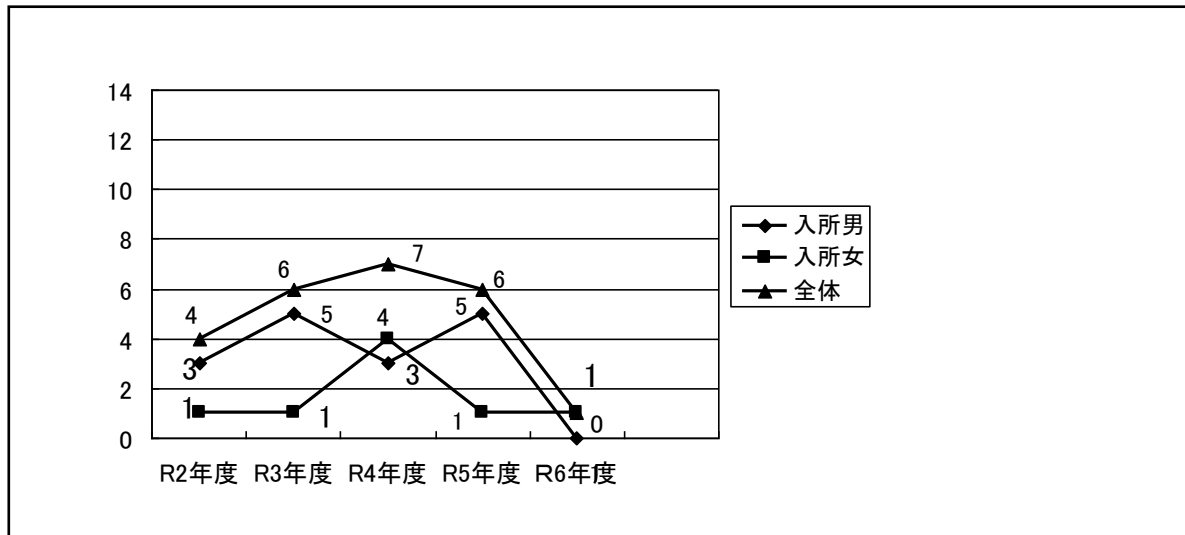
(1) 入退所状況

(単位：人)

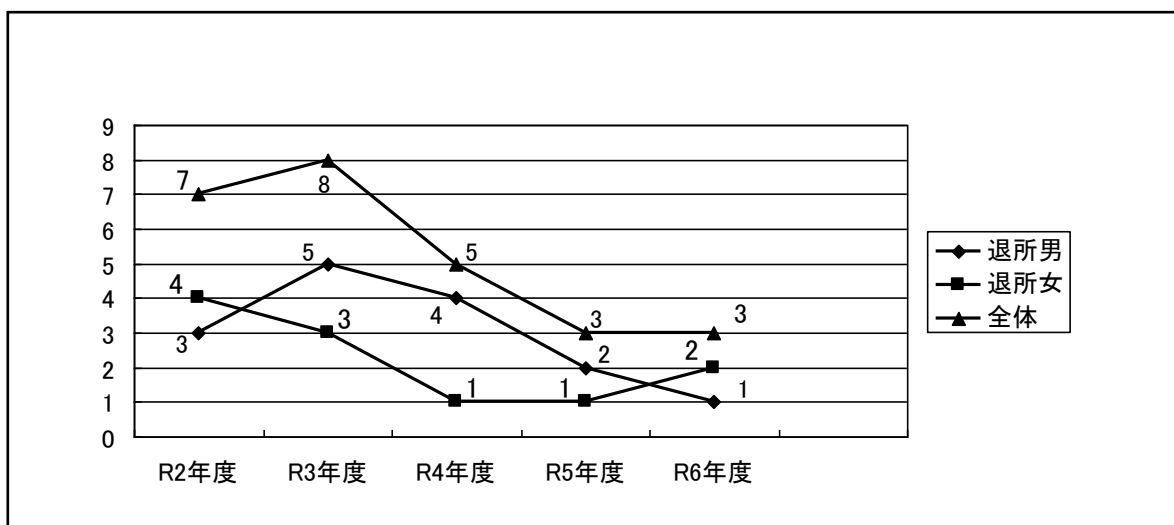
区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入 所	男	3	5	3	5	0
	女	1	1	4	1	1
	計	4	6	7	6	1
退 所	男	3	5	4	2	0
	女	4	3	1	1	2
	計	7	8	5	3	3

(カッコ内は短期の措置入)

入所



退所



(2) 入所者の年齢（令和6年度）

(単位：人)

区 分	6 歳以下		7～12 歳		13～15 歳		16～18 歳		合 計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
重 度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中 度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
軽 度	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1
計	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1

(3) 退所者の年齢（令和6年度）

(単位：人)

区 分	6 歳以下		7～12 歳		13～15 歳		16～18 歳		合 計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
重 度	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2
中 度	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
軽 度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	1	2	1	2	3

(4) 退所理由（令和6年度）

(単位：人)

区 分	家 庭	通所施設	成人施設	児童施設	入 院	G H他	計
重 度	0	0	1	0	0	1	2
中 度	0	0	0	0	0	1	1
軽 度	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	1	0	0	2	3

8. ボランティアの状況

(単位：人)

月 区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
労働型	労 力	61	15	52	29		30	16	43	63			17	326
	理 髪	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
交流型	地域交流					3							3	6
	M☆ フレンズ			13	19	8		17		4				61
	学 生													
	その他			9				20						29
小 計		64	18	77	51	14	33	56	46	73	3	3	23	458

ボランティア状況

労働型のボランティアは、令和6年度も天候に恵まれ、計画通りに清掃や除草作業をしてもらうことができた。交流型のボランティアについては、新型コロナウイルス感染症が第5類型に緩和され行事が増えたことで、令和5年度に比べ増加した。

(1) 措置機関別

資料 1

(毎年4月1日現在) 単位：人

措 置 機 関	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
中央児童・障害者 相談センター	6	3	9	5	2	7	5	2	7	4	3	7	4	3	7
一 宮 児 童 相 談 センター	2 (1)	1	3 (1)	1 (1)	1	2 (1)	1 (1)	2	3 (1)	2 (1)	2	4 (1)	2 (1)	2	4
海部児童・障害者 相談センター	2		2	2		2	1		1	1		1	1		1
知多児童・障害者 相談センター	1	1	2	2	1	3	2	2	4	2	2	4	2	1	3
西三河児童・障害 者相談センター		2	2		2	2	1	2	3	2	2	4	2	2	4
刈 谷 児 童 相 談 センター	1	1	2	1		1	1	1	2	1	1	2		1	1
豊田加茂児童・障 害者相談センター	5 (1)	5	10 (1)	6 (1)	5	11 (1)	5 (1)	4	9	5 (1)	3	8	5 (1)	3	8
名古屋市中央 児童相談所				1		1	1		1	3		3	3		3
春日井児童相談 センター	2		2	1		1									
東三河児童・障 害者相談セン ター								1	1		1	1		1	1
計	19 (2)	13	32 (2)	19 (2)	11	30 (2)	17 (2)	14	31 (2)	20 (2)	14	34 (2)	19 (2)	13	32 (2)

()は契約利用者

(2) 年齢別・性別

資料 2

(毎年4月1日現在) 単位：人

年齢	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
3				1		1				1		1			
4					1	1	1		1				1		1
5	1		1					1	1	1		1			
6	1	1	2	2		2	1		1	1	1	2	1		1
7		1	1	2	1	3	2	1	3	1		1	1	1	2
8					1	1	2	2	4	1	1	2	1		1
9	2	2	4					1	1	3	2	5	1	1	2
10	1		1	3	2	5				1	1	2	3	3	6
11	2	1	3	2		2	3	2	5				1	1	2
12	2	1	3	2	1	3	2	1	3	3	2	5			
13	1		1	1	1	2	2	2	4	2	1	3	3	2	5
14	1	2	3	1		1	1	1	2	3	2	5	2	1	3
15	1	1	2	1	2	3	1		1	1	1	2	3	2	5
16	3	1	4	1	1	2	1	2	3	1	1	2	1	1	2
17	4	3	7	3	1	4	1	1	2	1	2	3	1	1	2
18															
19															
合計	19	13	32	19	11	30	17	14	31	20	14	34	19	13	32
平均年齢	12.8	12.6	12.7	11.3	11.5	11.4	10.9	11.4	11.1	10.9	12.3	11.5	11.6	12.3	11.9

(3) 在園年数状況

資料 3

(毎年4月1日現在) 単位：人

区 分		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年未満	1年未満	4	1	5	5	1	6	1	4	5	5	1	6		1	1
	1年～2年未満	1	3	4	3		3	5	1	6	1	4	5	5		5
	2年～3年未満	2	1	3	1	3	4	3		3	4	1	5	1	5	6
	3年～4年未満	1	2	3	2	1	3	1	3	4	3		3	4	1	5
	4年～5年未満	1	1	2	1	2	3	2	1	3	1	2	3	3		3
	小計	9	8	17	12	7	19	12	9	21	14	8	22	13	7	20
5年未満	5年～6年未満				1	1	2		2	2	2	1	3	1	2	3
	6年～7年未満	3	2	5				1	1	2		2	2	2	1	3
	7年～8年未満	1	1	2	2	2	4				1	1	2		2	2
	8年～9年未満	3	1	4				2	1	3				1		1
	9年～10年未満				2	1	3				1	1	2			
	小計	7	4	11	5	4	9	3	4	7	4	5	9	4	5	9
10年未満	10年～11年未満	3		3				2	1	3				1	1	2
	11年～12年未満				2		2				2	1	3			
	12年～13年未満													1		1
	13年～14年未満		1	1												
	14年～15年未満															
	小計	3	1	4	2		2	2	1	3	2	1	3	2	1	3
15年以上																
合 計		19	13	32	19	11	30	17	14	31	20	14	34	19	13	32

(4) 障害程度

資料 4

(毎年4月1日現在) 単位：人

		重 度	中 度	軽 度	合 計
令和3年	計	17	6	9	32
	%	53.1	18.8	28.1	100.0
令和4年	計	14	7	9	30
	%	46.7	23.3	30.0	100.0
令和5年	計	12	5	14	31
	%	38.7	16.1	45.2	100.0
令和6年	計	13	6	15	34
	%	38.2	17.7	44.1	100.0
令和7年	計	12	4	16	32
	%	37.5	12.5	50	100.0

※軽度到手帳非該当の利用者1名を含む。

(5) 自閉症（自閉的傾向を含む）

資料 5

（毎年4月1日現在）単位：人

	自 閉 症			自 閉 症 以 外			総 数
	総数	男	女	総数	男	女	
令和3年度	11	5	6	21	14	7	32
(%)	34.4	15.6	18.8	65.6	43.7	21.9	100.0
令和4年度	12	7	5	18	12	6	30
(%)	40.0	23.3	16.7	60.0	40.0	20.0	100.0
令和5年度	14	9	5	17	8	9	31
(%)	45.2	29.0	16.2	54.8	25.8	29.0	100.0
令和6年度	15	9	6	19	11	8	34
(%)	44.1	26.5	17.6	55.9	32.4	23.5	100.0
令和7年度	13	9	4	19	10	9	32
(%)	40.6	28.1	12.5	59.4	31.3	28.1	100.0

(6) 介助の程度別

資料 6

(毎年4月1日現在)単位:人

区 分		男		女		合 計	
		(人)	構成比	(人)	構成比	(人)	構成比
食 事	全介助	0	0	0	0	0	0
	一部介助	14	73.7	8	61.5	22	68.8
	自立	5	26.3	5	38.5	10	31.2
排 泄	全介助	0	0	0	0	0	0
	一部介助	15	78.9	6	46.2	21	65.6
	自立	4	21.1	7	53.8	11	34.4
着 脱	全介助	0	0	0	0	0	0
	一部介助	10	52.6	2	15.4	12	37.5
	自立	9	47.4	11	84.6	20	62.5
洗 面	全介助	2	10.5	0	0	2	6.3
	一部介助	11	57.9	2	15.4	13	40.6
	自立	6	31.6	11	84.6	17	53.1
歯磨き	全介助	0	0	0	0	0	0
	一部介助	14	73.7	2	15.4	16	50
	自立	5	26.3	11	84.6	16	50
入 浴	全介助	0	0	0	0	0	2.9
	一部介助	12	63.2	3	23.1	15	46.9
	自立	7	36.8	10	76.9	17	53.1
生 理	全介助	-	-	0	0	0	0
	一部介助	-	-	3	23.1	3	23.1
	自立	-	-	3	23.1	3	23.1
	無	-	-	7	53.8	7	53.8

(7) 就 学

資料 7

(毎年4月1日現在) 単位：人

学 年		小 学 部							中 学 部				高 等 部				小計	昼 未 間 就 学 計	合 計
		1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	1	2	3	計			
令和 3 年	男	1			2	1	2	6	2	1	1	4	1	3	4	8	18	1	19
	女	1	1		2		1	5	1		2	3	1	1	3	4	13		13
	計	2	1		4	1	3	11	3	1	3	7	2	4	7	13	31	1	32
令和 4 年	男	2	2			3	2	9	2	1	1	4	1	1	3	5	18	1	19
	女		1	1		2		4	1	1		2	2	1	1	4	10	1	11
	計	2	3	1		5	2	13	3	2	1	6	3	2	4	9	28	2	30
令和 5 年	男	1	2	2			3	8	2	2	1	5	1	1	1	3	16	1	17
	女		1	2	1		2	6	1	2	1	4		2	1	3	13	1	14
	計	1	3	4	1	5	5	14	3	3	2	9	1	3	2	6		2	31
令和 6 年	男	1	1	1	3	1		7	3	2	3	8	1	1	1	3	18	2	20
	女	1		1	2	1		5	2	1	2	5	1	1	2	4	14		14
	計	2	1	2	5	2		12	5	3	5	13	2	2	3	7	32	2	34
令和 7 年	男	1	1	1	1	3	1	8		3	2	5	3	1	1	5	18	1	19
	女		1		1	3	1	6		2	1	3	2	1	1	4	13		13
	計	1	2	1	2	6	2	14		5	3	8	5	2	2	9	31	1	32